

災害派遣職員レポート

No.44 H23.7.25

陸前高田竹駒地区で活動している 中心荘 對木職員の報告

今日は、13時34分に震度5の地震が宮城県沖で起こったらしく、サロンで大きな揺れがありました。サロンに来ていた子供達を広い場所に集合させてしゃがんでもらい、安全を確保。また、サロンに来ていた利用者さんにもその場にしゃがんでもらったりして、安全を確保。揺れが収まった後、仮設住宅間の通路を周り、怪我人の有無・安否確認を声をかけて確認。サロンに来られていた方々に一度家に戻っていただき、家族の安否・家の様子を見てきていただくよう促しました。（私はサロンで子供達の見守りをしていました。涌井さんとボランティアセンターの方の人と周って貰いました。）特に怪我人等はなく、全社協・市社協に連絡をとりました。

私は、地震が来たとき動きが止まってしまい、涌井さんに指示を貰いながら動いていました。次は上記の動きができるよう心がけて動いていきます。次に来る人は緊急時マニュアルをよく読んで来られるといいのではないかと思います。緊急時に置ける自分の未熟さを感じました。次はもっと自分から動いて、連携した動きが出来るように頑張ります。

三浦副所長より

報告、ありがとうございます。社協、ボラの皆さんの迅速な判断と行動で、サロンの方たち、仮設の方たちの安全が確保され、けが人もなく良かったです。宮城県では7月の中旬にも震度4の地震がありました。まだまだ不安定です。気を抜かずにつつ起きても動きが止まらないよう、自分でシミュレーションしておきましょう。

それから、皆さん地震や津波で多くのを失ってきました。この地震によって精神的に不安定になってしまわれる方もいると思います。見守り・安否確認の際に、引き続き注意して見て行って下さいね。

對木さんの活動期間はあと少しですが、もう一度気を引き締めて、よろしくお願ひしますね。